

国会議員等と世界平和統一家庭連合（旧統一教会）との関係断絶について

令和4年7月8日、参議院議員通常選挙期間中に奈良市で演説をしていた安倍晋三元内閣総理大臣が銃撃を受け死亡しました。

容疑者は、犯行の動機として、母親が世界平和統一家庭連合（旧統一教会）に入信し、多額の献金を行ったことで家庭が崩壊したことに恨みを持ち、その団体とのつながりのある安倍元内閣総理大臣を襲撃したとの供述をしました。それがマスコミに連日取り上げられたことを契機に、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）と自民党などの国会議員等との関係が明るみに出ました。

世界平和統一家庭連合（旧統一教会）は、靈感商法や高額献金問題等で被害者が続出して訴訟が相次ぎ、その責任を認める民事裁判の判決が出され、反社会的行為を繰り返している団体と認識されています。

国会議員等は高い倫理義務が課せられており、国民からの疑念や不信を持たれないよう心掛けることが求められています。

よって政府は、国会議員等と世界平和統一家庭連合（旧統一教会）との関係断絶に向け、下記事項について措置されるよう、強く要請します。

記

- 1 世界平和統一家庭連合（旧統一教会）による被害者の救済等を目指す調査委員会を設置して、被害の実態調査及び議員との関係解明等を行うこと。

2 被害者や「宗教2世」等の相談窓口を行政等に設置し、支援する体制を確立すること。

3 信教の自由を守ると同時に、反社会的な活動を行う団体を規制する法律の整備を行うこと。

ここに、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出いたします。

令和4年9月26日

会津若松市議会議長 清 川 雅 史

あて

内閣総理大臣

総務大臣

衆議院議長

参議院議長

その他関係筋

注 なお、衆参両院議長に対する意見書については、表題は「国会議員等と世界平和統一家庭連合（旧統一教会）との関係断絶について」を「国会議員等と世界平和統一家庭連合（旧統一教会）との関係断絶を求める意見書」に、本文中「よって政府は」を「よって国会は」に改める。